

ヒトから分離された稀な腸肝在位 *Helicobacter* 属菌種について

加藤 信都、富田 純子、森田 雄二、河村 好章

愛知学院大学薬学部微生物学講座

【概要】

2017年7月8日、岐阜で開催された「日本薬学会東海支部総会・大会」に参加し、以下の研究内容を発表した。

【目的】

現在、*Helicobacter* 属には36菌種が存在し、その中でヒトから分離された報告がある菌種は *Helicobacter pylori*, *H. cinaedi*, *H. canis*, *H. bilis*, *H. canadensis*, *H. fenelliae*, *H. pullorum* の7菌種のみである。今回、ヒトから分離された臨床分離株についてその分類学的位置と特徴について解析を行ったところ、これまでヒトには感染しないとされていた *Helicobacter* 属菌種がヒトから分離され、さらに新菌種と予想される株も検出されたため解析を行うこととした。

【方法】

ヒト臨床分離株の16S rRNA 遺伝子、23S rRNA 遺伝子、*gyrA* 遺伝子の塩基配列を決定し、得られた配列を他の *Helicobacter* 属菌種の配列と共に系統解析を行った。さらに電子顕微鏡による形態観察、生化学性状試験、薬剤感受性試験を行った。

【結果】

塩基配列解析の結果、16S rRNA 遺伝子、23S rRNA 遺伝子ともに、独立した系統位置に存在した。薬剤感受性試験では、メトロニダゾールに耐性であることがわかった。形態観察に結果、両極に1本ずつ鞭毛を持っていることが観察された。

【考察】

塩基配列解析の結果、既存のどの *Helicobacter* 属菌種とも塩基配列が一致せず、独立した系統位置に存在していた。形態を観察すると、ラセン形

であり双極に鞭毛を有していた。本菌株は新しい分類群として位置づけることが妥当であると考えられたため、*Helicobacter* 属の第37番目の新菌種と考えられる。

【感想】

日本薬学会東海支部総会・大会に参加させていただき、とても貴重な体験になりました。他大学の学生の発表も聴かせていただきましたが、とても興味深いものでした。

